

日本海国土軸の形成に資する北陸新幹線等の整備について

【担当省庁】国土交通省

北陸新幹線（敦賀・新大阪間）等の整備推進のため、以下について要望する。

- 現在、環境アセスメント手続きが進められているが、国において慎重な調査と丁寧な地元説明を行うとともに、地下水や建設発生土など施工上の課題や環境の保全について、適切に対応していただきたい。
- 建設費の地方負担については、コスト縮減はもちろん、貸付料、財政支援、国と地方の負担割合など制度の見直しなどにより受益に応じた負担としていただきたい。
- 整備効果をより拡大するため、関西文化学術研究都市とのアクセス路線となる JR 片町線（松井山手～木津）の複線化等、速達性の向上が実現するよう協力していただきたい。
- 日本海国土軸形成に資する舞鶴を経て日本海に至る山陰新幹線を含めた北部地域の広域幹線鉄道のあり方検討

【現状・課題等】

- 国土の総合的な発展を目指し、東京一極集中に歯止めをかけ、近畿・西日本の経済の活性化を図るためには、敦賀・大阪間の早期整備が必要であり、その実現には、安定的な財源の確保が必要
- 京都駅周辺において、3案のルートが示されたが、国において慎重な調査と丁寧な地元説明を行うとともに、地下水や建設発生土など施工上の課題や環境の保全について、適切な対応が必要
- 建設費の地方負担については、コスト縮減、貸付料の見直し、財政支援の拡充、既定の負担割合の変更も含めた地方負担の軽減により、受益に応じた負担とするための対応が必要
- 令和6年度予算に計上された「北陸新幹線事業推進調査」については、国において沿線住民の理解を得ながら着実に進め、施工上の課題の早期解決が必要

京 都 府 の担当課	建設交通部 交通政策課(075-414-4360)
---------------	---------------------------

【国の事業等】

■概算要求〔国土交通省〕

- ▶ 整備新幹線整備事業 804 億円（令和6年度予算 804 億円）
- ▶ 整備新幹線建設推進高度化等事業（北陸新幹線事業推進調査含む） 19 億円
（令和6年度予算 16 億円）
- ▶ 北陸新幹線敦賀・新大阪間の着工に必要な経費の事項要求

■北陸新幹線の現状計画図



■JR 片町線の現状



複線化・快速運行の場合
松井山手～木津
28分 ⇒ 17分